



子どもを 守り育てる社会とは — 今、私たちにできること —



今の社会で、子どもが幸せに育つために
「私」たちにできることは何か？
どんなことができるのか？
保育士、そして園長としての豊富な経験から、
「今」できることのヒントを見つけられるお話です。
一緒に考えてみませんか？



2020年

日時: **2月15日(土)**

13:30~15:30

(開場 13:00)

会場: **イコールふくやま**

(福山市西町1-1-1 エフピコRiM 地下2階)

参加費: **1,000円(高校生以下無料)**

定員: **100人**(定員になり次第締め切ります)

主催: 認定NPO法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

お申込: 電話 / FAX: 082-233-8655

事務局携帯: 090-7998-6113

メール: hiroshimachildline-f@adagio.ocn.ne.jp

後援: 福山市・福山市社会福祉協議会・中国新聞備後本社・エフエムふくやま



講師 **石川 幸枝 さん**

高陽なかよし保育園(広島市)

元園長・現常務理事



【講師プロフィール】

石川 幸枝（いしかわ ゆきえ）



1966年3月 名古屋市立保育短期大学卒業

1966年4月より保育に従事。

愛知県、三重県、広島県広島市において保育に従事。

1991年からなかよし保育園の園長に就任。

2001年高陽なかよし保育園、2004年口田なかよし保育園設立に関与。

2011年3月高陽なかよし保育園園長を退任後、常務理事となり現在に至る。

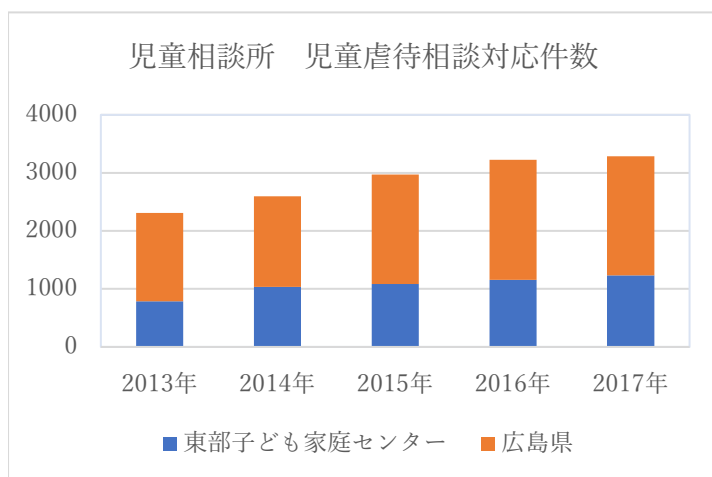
その他、全国民間保育園経営研究懇話会会長、保育士養成大学の非常勤講師を務める。

チャイルドラインは主に自分で電話をかけることができる小学生以上の子どもが対象です。

では一方で、チャイルドラインにつながる前の自分から声を上げにくい就学前の子どもたちをどのように守り育てるのか？という課題もあります。

そこで、石川幸枝さんを講師にお招きし、長年の保育士・園長としての経験と広い視点から、親だけではなく地域で子どもを守り育てることの大切さについてお話しいただきます。

「今」そして「私」たちにできることのヒントが見つけれられるお話です。



厚生労働省、中国新聞 2019.03.12

虐待の報告経路(2017年全国上位3項目)

警察 42.8%

市町 16.4%

近隣知人 10.7%

厚生労働省

チャイルドラインのやくそく

1

ヒミツはまもるよ

2

どんなことでも、
いっしょに考える

3

名まえは
いわなくてもいい

4

切りたいときには
切っていい



チャイルドラインは、子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちをありのままに受けとめ、共感することによって、子どもの心を解放し自立を支えることを目的としています。

ひろしまチャイルドラインは、市民のボランティア活動として広島市を拠点にスタートし、2020年3月21日に20周年の節目を迎えます。そして福山市では2005年から子どもの声を聴かせてもらっています。

また、スマートフォンの普及と子どもたちのニーズに合わせて、2019年11月から、インターネットを使ったオンラインチャット相談もスタートしました。

子どもたちからは「寂しい」「つらい」、「自分のことを大切に思ってくれる人がいない」と感じていることを訴える声が届きます。

チャイルドラインの活動は目立つものではありません。ですが、その声を社会へと伝え、少しでも多くの大人たちとともに、子どもの育ちを支援する輪を広げること。そして、子どもを社会全体で守り育てることのできる地域社会を目指して活動しています。